



吹田だより

平成 23 年 1 月 24 日

ニュースレター

大阪府高齢者大学

= 第 8 号 =

発行 同窓会吹田

## 速報！平成23年新年会を開催

1月17日(月) メイシアターにて開催。午前の演芸会を終え、フラダンスの皆さんに囲まれて奥谷顧問の乾杯の発声で懇親会に。午後は、全員参加の歌声ひろばやビンゴゲームで盛り上がりました。



## 23年度年会費の納付をよろしく

今年ブロック制による地区活動、クラブ・同好会活動などの充実を図り、会員の皆様が多く集える同窓会を目指します。同封の郵便振替用紙で継続入会の手続きをお願いいたします。  
区長・副区長も受け付けいたします。  
又、入会されていない同窓のお仲間がおられましたら、是非お誘いください。

### お詫びと訂正

昨年末に発行しました「吹田だより」114号の表紙の写真につきまして、写真脚注と目次に「北野天満宮」と記載しましたが、「松尾大社」の誤りでした。お詫びするとともに、訂正致します。



## 事務局からの報告

同窓会吹田役員会及び連協、高齢者大学校の情報を掲載。

### 同窓会吹田 12月役員会 [12/27開催] 及び 1月運営委員会 [1/7開催]

**平成22年度「高大受講生」の同窓会勧誘** 入会案内資料として「吹田だより114号」にクラブ・同好会特集を掲載。対象者52名宛ての案内を、現会員の受講者へは入会勧誘のお願い文を、運営委員会にて準備しました。尚案内文は連協を経由し、高齢者大学校の各教室で対象者へ配布を完了しました。

**年会費据え置き** 現行1,800円の内、約500円は地区へ還付しており、実質1,300円は他同窓会と同レベルであり、据え置きを承認。入会案内の文書にその旨の説明を記載しました。

**認知症サポート養成講座** 11/24に第2ブロック(4,5区)、11/25に第5ブロック(10,11区)が開催。これまでで3ブロックで開催、参加者計65名、参加率40%強。

**新年会** 1/17に開催。会費を前回より引き下げ4,000円で実施すると決定。歌声ひろば、ビンゴ大会等の経費として40,000円を行事費から支出することが承認されました。

**新年度の活動計画を検討** より多くの会員が、福祉活動、クラブ(同好会)活動、地区活動に参加するよう、事務局が積極的にサポートすることを確認。クラブ活動を支援する担当役員の設置など今後具体策を検討する。

### 連絡協議会 1月役員会 [1/12開催] 今回から法円坂の大阪市教育会館にて開催。

**高齢者大学校** 来年度の受講生募集は、36科、1,590人。一次の申込は1/15に締め切れ、1/17に抽選が行われました。定員の1割の枠による二次は2/15締切(抽選2/17)。尚、一部の科で、申込み多数に対処しての定員増や、大幅定員割れのSA2科を1科にまとめるなどの調整も検討。

**平成22年度「高大受講生」の同窓会勧誘** 連協役員が分担して各教室にて、説明会(1/17-20)、入会受付(1/24-2/17)を実施することとし、分担を決定。

**文化祭** 2/21,22に開催。文化部からの報告。演芸の出演希望者が多く、特に2/22に集中、演技時間の短縮など調整している。作品展は、前日の搬入と展示及び最終日の撤去作業の対応案を作成、1/24の実行委員会で徹底を図る。

## 行事实施報告

**同窓会吹田新年会** 1/17(月) 来賓に阪口市長を迎え、メイシアターにて開催。

参加者60人。10時半に会館正面の階段で記念写真を撮り、梅本会長新年挨拶、阪口市長のお祝いのことばで開会。午前は演芸会で、朗読、大正琴、朗読劇、フラダンスが披露されました。

奥谷顧問の発声で乾杯、懇親会へと移り、その間に、新年会では初のプロジェクターを使って、ホームページの紹介、クラブ活動や社会見学会の様子を映しました。午後は、歌体操、3年目となる歌声ひろばで全員が体を動かし、唄った後、ビンゴゲームを始めて実施。竹内氏(特区)の名司会で大いに盛り上がり、午後3時、七尾副会長の万歳三唱で閉会となりました。

来年は1/16(月)に開催を予定。より多くの参加を期待しています。

# 新年会写真集 (カラーはホームページでご覧下さい)



氷点下の朝、全員で・・・



阪口市長からお祝いの言葉

## ・・・ 演芸会 ・・・



朗読「大阪のカエル京のカエル」  
6区 前田啓子さん



大正琴 同好会「和の会」 「好きになった人」他



朗読劇「かさこ地蔵」 朗読クラブの初舞台



フラダンス「フラ・ハラウ・オ・ナーブアマカヒキナ」の皆さん



午後は、歌体操クラブの皆さんのリードで体をほぐして…



歌声ひろば…手をつなぎ、輪になって、楽しく合唱



最後はビンゴゲームで盛り上がり… 「最初のビンゴ!!」

## 見学会・クラブ例会・講演会などのご案内

### 同窓会吹田 写真クラブ 作品展

日 時 1/26(水)15時～2/9(水)14時  
期間中は終日  
会 場 大阪モノレール千里中央駅構内  
モノギャラリー  
改札で断れば、切符なしで入場可。

### 同窓会吹田 ゴルフクラブ「楠会」例会

日 時 4/4(月)  
会 場 東海カントリークラブ  
クラブ員以外の方の参加歓迎します。  
問い合わせ先 ゴルフ部部長 大関 宏  
06-6389-4168

### 同窓会吹田 パークゴルフクラブ 2～3月例会 会場:万博パークゴルフ場

2/25(金)、3/31(木)に開催。初参加、初心者歓迎。9時半に会場へお越しください。  
問い合わせ先 部長 宇多 06-6871-2103 副部長 寺尾 06-6877-0356

同窓会吹田

### 第二回 男の料理の集い(ランチの会)

日 時 2月28日(月) 10時～13時  
会 場 竹見台多目的施設 3F 料理実習室  
会 費 実費(六百円程度)  
同好会結成を目指しています。女性の応援団も  
歓迎  
申込先 06-6876-8523(梅本)

主 催 大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会

### 連協 教養講座

「浅井長政とお市の方」  
講 師 若井敏明 [高齢者大学校講師]  
日 時 2月21日(月) 10時～12時  
会 場 吹田市メイシアター 中ホール  
入場料 無料 申込み不要(資料代 100円)  
問い合わせは 06-6876-8523(梅本)

### 主 催 大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会 第3回 文化祭

日 時 2月21日(月)、22日(火) 会 場 吹田市文化会館 メイシアター  
開会式 21日 9:40～9:55 中ホール  
作品展示(1階 展示室・ロビー) 初日 10:00～17:00 2日目 10:00～16:00  
演芸会(2階 小ホール) 初日 12:30～17:00 2日目 10:00～16:00

### 主催 同窓会吹田 社会見学会 第五回案内

3月24日と予告しましたが、見学先の都合により、3月25日(金)に開催致します。  
詳細、申込は同封のチラシをご覧ください。  
見学先は、2年前に落慶しました 総本山念仏宗無量壽寺。  
同寺は、敷地 55万坪に、木造建築として東大寺大仏殿に比肩する本堂を含めた総伽藍、  
堂内の装飾は現代の名工による手彫りの彫刻、テレビにも紹介された世界最大級の梵鐘、  
広大な庭園など、宗教を離れて一見の価値があります。

## 高齢者大学、きっと見付かる新たな生き甲斐

深井 保

『光陰矢の如し』、『少年老い易く、学成りがたし、一寸の光陰軽んずべからず』、『過ぎ去りし、うるわしき日々は、再びわが元に返り来たらず』-----これらははるか学生時代から聞き及んだ人生をうたった名言です。最近、これらの名言の深い意味合いと、脳裏に映る人生をかえりみつつ、行く末を想う歳になってしまいました。

過日古希を迎えた記念に車の買い替えをしたり、新聞に入った霊園分譲のチラシを見て現地視察をしたのもつい先日のことのように思われるのですが、間もなく後期高齢者の仲間入りをするのです。歳を追うごとに月日の経つのが早く感じられるようになりました。ある先輩が「歳をとると1年経つのがますます早く感じるようになるよ。その感触は、1歳の子供を育てる時に感じる1年の感じ方を1とすると、60歳の人には1/60、70歳の人には1/70----と、年齢で割り算したように年々短く感じるようになる」という話をしていたことを思い出しました。私も全く同感です。

敬老の日を前に総務省が発表した日本人の平均寿命は、男性が79.6歳で世界第5位、女性が86.4歳で世界第1位と世界有数の長寿国となっているのです。しかしながら昨年の夏に年金の不正受給に端を発した、例の身寄りのない人が行き倒れになっても戸籍上は生存者扱いになっているということで、いま世界の長寿大国の根幹が揺らぐ事態になっているのです。

歴史上長寿として知られる豊臣秀吉は享年61歳、徳川家康が73歳であることを思うと、今の時代に生を受けたことを感謝すると共に、残された人生をより楽しく有益に過ごしたいという想いが深まるのです。

高齢者の不安として『健康』、『お金』、『生き甲斐が見つかるかどうか』という三つがあげられます。健康の大切さは云うまでもありません。高齢者にとっては、がん、心疾患、脳血管疾患の三大疾患と肺炎による死亡率が圧倒的に高く、その他、糖尿病や腰痛、膝痛など、さまざまな疾患に見舞われます。

お金の大切さはご承知の通りです。老後の生活資金をどう考え、どれくらい備えればよいでしょうか。いま、男性の定年を60歳、妻を扶養して、1ヶ月の生活費が30万円、平均寿命79.6歳まで生きるとすると、 $30 \text{万円/月} \times 12 \text{ヶ月} \times (79.6 - 60) \text{年} = 7,056 \text{万円}$ 、となり、平均寿命まで生きるのに約7,000万円必要となります。この間、年金として支給される金額との差額が老後に必要となる資金ということになります。無論90歳、100歳まで生きるとなれば、それだけ老後の資金は必要になるのです。また病気で入院したり、夫婦の一方又は双方が施設で介護を受けるようになった場合など、病気と介護に要する費用が必要となります。因みに介護に関しては介護保険を利用した公的な施設でも、月々の費用は1人当たり15~20万円。有料老人ホームはさまざまありますが、標

準的には、入所時に 2,000～3,000 万円、月々の費用が 20～30 万円と莫大な費用がかかるのです。

人生のエンディングは『ピンピン、コロリ』がいいとよく言われますが、この意味は、家族や子供、また周りの誰にも負担をかけずに、人生の最後までピンピン元気で楽しく暮らし、死ぬときはコロリと死ぬのがいい、という誰しもが願う願望なのです。

定年前後のいわゆるシニア世代は、自分はまだまだ若いと考えていると共に、人生の残り時間をどう有意義に使おうかと熱心に考えるものです。定年後の理想のライフスタイルとして、『仕事、ボランティア、趣味など総てに取り組みたい』、また『いつまでも社会とつながりながら自分らしく生き、誰かのために役立ちたい』その他『退屈している先輩たちのようになりたくない』などと考える人が多いのですが、長年会社の生活に没頭し、社会との関わりから退いて来た人達は、自ら新しい生活に飛び込んでいくのが怖いのです。そしてあれこれと考えているうちに月日が流れて、高齢者の仲間入りをしてしまうのです。中にはテレビばかり見て暮らしているうちに、わずか数年でボケが始まったという人もおります。人生を楽しく過ごすために生き甲斐を見つけるということは、簡単なようで大変難しいのです。

私の場合は退職後、働く気もないのに失業保険をくれるというので、これをもらってぶらぶらしていたものの、人生の生き甲斐など見つかるよしもなく、暇つぶしにはなるだろうという軽い気持ちで老人大学に入学しました。当時

これが私に新たな生き甲斐をもたらす序曲になるとは、その時は知るよしもありませんでした。私の選んだのは英語科の中級、クラブ活動は社交ダンスでした。このクラスは海外で駐在員生活をしてきた人が多く、通常の英会話は不自由しないという人が多いのが意外でした。たまたま抽選でクラスの幹事が2名選出されましたが、ご両人の采配ぶりが実にみごとで素晴らしく、試験を受けて入学したわけでもないのにこのクラスは一体どんな人たちの集まりなのだろうか？ という疑問を感じるほどでした。授業は毎回2人ずつ自由なテーマによる英語の発表会が含まれるというユニークなものでした。

私が選んだクラブ活動の社交ダンスは、かねがね暇になったら始めたいと思っていたものの、ダンス教室の門を叩く勇気もなく躊躇していたものでした。これがクラブ活動のおかげですんなり入門することが出来、今では老後の生き甲斐の重要な一つとなっているのです。

老人大学の素晴らしさは、“仲間”を作り、高齢になっても趣味を同じくする“仲間”たちと、楽しみつつ生き甲斐のある人生を送る術を教えてくれるところにあると言えます。

この老人大学は大阪府の財政悪化により民間へ委譲され、2年前に大阪府高齢者大学校と名称が変わり、立地も大阪市森之宮の教育会館に移転されました。授業料は値上げされたものの、かつての老人大学の目的、理念等がそのまま継承されており、必ずや入学することにより『残る人生の新たな生き甲斐』を見つけることが出来ると確信しております。(終わり)